

問1 平安時代末期、武士として初めて任命された最高位の官職を何という？

1. 内大臣 2. 右大臣 3. 太政大臣 4. 左大臣

問2 院政を行うために、天皇の住む御所の外に設けられた上皇の執務機関を何という？

1. 院庁 2. 藏人所 3. 政所 4. 検非違使

問3 平将門が乱の中で自らを称し、独立した政権を立てようとした称号は何？

1. 天皇 2. 上皇 3. 法皇 4. 新皇

問4 摂関家を外戚に持たず、荘園整理令を出して藤原氏の勢力を抑えた天皇は誰？

1. 醍醐天皇 2. 後三条天皇 3. 白河天皇 4. 村上天皇

問5 平安時代の貴族文化において、仏教の教えを絵画や工芸品などを用いて表現したものを何という？

1. 浄土教美術 2. 仏像彫刻 3. 書道芸術 4. 曼荼羅画

問6 「この世をば わが世とぞ思う 望月の 欠けたることも 無しと思えば」という歌を詠み、摂関政治の全盛期を築いた人物は誰？

1. 藤原良房 2. 藤原基経 3. 藤原道長 4. 藤原忠平

問7 平安時代、父・道長の別荘を寺院に改め、宇治に平等院鳳凰堂を建立した人物は誰？

1. 藤原師輔 2. 藤原兼家 3. 藤原道長 4. 藤原頼通

問8 日宋貿易で力をつけた平氏一族が厚く信仰した、安芸国にある神社を何という？

1. 日光東照宮 2. 厳島神社 3. 出雲大社 4. 春日大社

問9 『源氏物語』を書き、平安時代の国風文化を代表する女性作家は誰？

1. 和泉式部 2. 菅原孝標女 3. 紫式部 4. 清少納言

問10 平安時代末期、東北地方を拠点として独自の勢力を築いた一族を何という？

1. 奥州藤原氏 2. 平氏 3. 蘇我氏 4. 源氏

問11 遣唐使の停止を建議した後、政争に巻き込まれて左遷された先はどこ？

1. 多賀城 2. 平安京 3. 平城京 4. 大宰府

問12 平安時代に日本独自の文化が発展したきっかけとなった、遣唐使が停止された時期はいつ？

1. 8世紀末 2. 9世紀末 3. 10世紀末 4. 7世紀末

問13 平安時代中期に『枕草子』を著し、宮廷生活の機微を描いた人物は誰？

1. 紫式部 2. 和泉式部 3. 清少納言 4. 小野小町

問14 平安時代中期に、地方の統治や徴税などの実務を一任された地方官を何という？

1. 国司 2. 目代 3. 太宰帥 4. 郡司

問15 1086年に天皇の位を譲った後、上皇として御所外から政治の実権を握った人物は誰？

1. 後鳥羽上皇 2. 鳥羽上皇 3. 後白河上皇 4. 白河上皇

問16 平安時代に藤原氏が摂政とともに就任し、政治の実権を握った官職を何という？

1. 征夷大將軍 2. 関白 3. 太政大臣 4. 摂政

答え合わせ・解説

問1	答え 3 太政大臣	1167年に平清盛がこの地位に就きました。武士が朝廷の最高職に就くことは当時としては異例のことであり、平氏一族が貴族社会の中枢に深く入り込んだことを示しています。
問2	答え 1 院庁	院庁は、院政における実務的な行政機関であり、上皇の意志を国家政策として実行する役割を持ちました。ここで出される命令は「院宣」と呼ばれ、強い権力を持っていました。組織として整備されることで、摂関政治とは異なる独自の政治体制が確立されました。
問3	答え 4 新皇	平将門は勢力範囲を支配下におくと、朝廷から認められない権力として、あえて「新皇」という称号を名乗りました。これは単なる地方の反乱を超え、中央政府である朝廷に対する真っ向からの挑戦を意味していました。
問4	答え 2 後三条天皇	後三条天皇は、母が藤原氏出身ではない天皇として即位しました。記録荘園券契所を設置して延久の荘園整理令を出し、不正な荘園を廃止して朝廷の財源を確保しました。これにより、藤原氏の経済的基盤が揺らぎ始めました。
問5	答え 1 浄土教美術	浄土教美術は、阿弥陀如来や極楽浄土の華やかな世界を絵画、彫刻、建築に込めた芸術です。平等院鳳凰堂の内部にある華麗な障壁画や、阿弥陀如来坐像などは、当時の最高の職人や芸術家によって作られました。繊細な装飾や美しい色彩は、平安貴族の優雅で洗練された文化を象徴しています。
問6	答え 3 藤原道長	藤原道長は、四人の娘を次々と天皇の後とすることで、揺るぎない地位を築きました。自身が摂政や関白になることもありましたが、それ以上に天皇の外戚という立場で朝廷を掌握しました。彼が詠んだ歌は、自身の権勢が満月のように欠けるところがないと誇る自信に満ちたものです。
問7	答え 4 藤原頼通	藤原頼通は、権力の絶頂期にあった藤原道長の息子です。1052年、彼は父から譲り受けた京都・宇治の別荘を寺院へ改め、平等院を建立しました。これは、当時の貴族たちが願った極楽浄土の姿を現世に再現しようとする試みでした。
問8	答え 2 厳島神社	平氏一族は、安芸国にある厳島神社を厚く信仰し、社殿を豪華に造り替えました。海に浮かぶようなその姿は、当時の建築技術の高さと、貴族化した平氏の優雅な文化を今に伝えています。
問9	答え 3 紫式部	紫式部は、藤原道長の娘に仕えながら、『源氏物語』を執筆しました。この物語は、主人公である光源氏の栄華と没落を通して、人間の心理や当時の貴族社会を克明に描き出しました。
問10	答え 1 奥州藤原氏	奥州藤原氏は、豊かな金の産出や馬の取引、大陸との貿易などを通じて莫大な富を築きました。この富を背景に、平泉の地に壮大な寺院群を建立し、仏教文化を花開かせました。
問11	答え 4 大宰府	道真の急激な昇進に嫉妬した藤原氏などの貴族によって、道真は無実の罪を着せられ、九州の大宰府へ左遷されました。道真はそこで失意のうちに亡くなりましたが、その後、都では道真の怨霊の仕業とされる天災や異変が相次ぎました。
問12	答え 2 9世紀末	894年、菅原道真の建議により遣唐使は停止されました。これにより、大陸からの直接的な影響が減り、日本の風土や日本人の感性に合った文化が育まれるようになりました。これが国風文化の始まりです。
問13	答え 3 清少納言	清少納言は、中宮定子に仕えた女房です。彼女の代表作『枕草子』は、「春はあけぼの」という有名な書き出して始まる随筆です。宮廷生活の中での出来事や、自然の美しさに対する鋭い観察眼と、彼女自身の機知に富んだ考え方がユーモアを交えてつづられています。当時の貴族社会の価値観や美的センスを知るための極めて重要な資料です。
問14	答え 1 国司	国司は地方の政治や徴税を一手に引き受ける地方官です。この職に就くことは、地方の富を吸収できるため、貴族たちにとって大変うまみのあるポストとされていました。
問15	答え 4 白河上皇	白河上皇は1086年に天皇の位を子に譲り、自らは上皇となって政治を執り行いました。これを「院政」といいます。これにより、摂関家ではなく天皇や上皇が権力の中心となりました。
問16	答え 2 関白	「摂政」は天皇が幼少の時に代わって政治を行い、「関白」は天皇が成人した後に政治を補佐する役割を持つ役職です。藤原氏はこれらの役職を独占することで、天皇を陰から操り、朝廷での最高権力者として君臨しました。これが摂関政治の仕組みです。